

平成 30 年 12 月 20 日 00409 号

編集者:佐藤 寿春

北見武道通信

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

表:157-22-2212 Fax:0157-23-0581

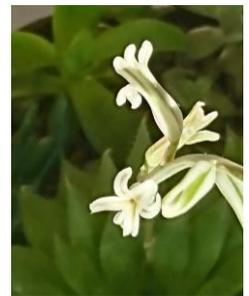
satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

URL <http://www.kitamibudokan.org/>



ニュースレター【事務局情報】第 8 回北海道若手合気道家研究会 北見市武道館で開催!

11月24・25日北見市武道館で北海道若手合気道家の研究会が行われました。遠軽町で合気道教室(あいきのまなびや)を行っている久保田雅士(くぼたまさし)合気会四段が北海道内の若手合気道家に呼びかけ4年前に合気道の開祖 植芝盛平翁うねしばもりへいおうの所縁の地、遠軽町白滝で開催したのを皮切りに道内各地で年2回、若手研究家が技を磨いているとのこと。子供を背におぶつての稽古は久保田氏の考案で「稽古中に我が子がまとわりついてきたのが切掛けで、重心の正しい移動や体の軸がぶれない体捌きの練習に役立つ」と話してくれました。観ていて微笑ましくも斬新で今後の合気道界に大きな影響を与えるのかもしれませんが。久保田氏は機会があれば北見市(北見市武道館)にも支部を持ち教室を開きたいと考えているとのことでした。 **武道振興協会事務所の花シリーズ 「我が家の多肉植物寄せ植え」** 我が家の多肉植物の花です。



連載「武道宝鑑」第21弾「竹内流腰廻りより講道館柔道まで」講道館七段 櫻庭 武

とにかく荒木流あらかきりゅうは、多くの人によって、最も古きものの一つであると認められているものである。右の荒木流を以て豊臣時代の創始そうしとするならば、之より僅かに後であろうと思われるものに、制剛流せいごうりゅうがある。元祖は水早長左衛門で、儉制剛けんせいごうより此の術を学びたるによって、制剛流と称した。弟子梶原源左衛門は梶原流を開き、之を以て尾張の徳川義直おわり とくがわよしなおに仕えている。また夏原八太夫を祖とする夢想流むそうりゅうも、随分古いものと思われるが、はっきりしない。以上のうち竹内、荒木の両流は、幕府時代を通じて相当広く行われ、且つ今日も尚その系統けいとうを存し、竹内流より出たる竹内三統流、双水執流、荒木流の血脈をひく眞陰流しんかげりゅう(荒木、関口両流を合わせるもの)及び制剛流より生まれた霞新流なども、いまに之を伝えるものである。徳川三代将軍家光とくがわの頃に至って、有名なる関口流が起った。・・・つづく